

令和 8 年 第 2 回 平内町 議会 定例会

一 般 質 問 予 告 表

質問順位	議席番号	質 問 者	表 題
1	4	田 中 大	1 返礼品の見直しについて
2	2	荒 内 護	1 移住・定住対策として、土地、戸建ての無償譲渡制度の設定について 2 街路樹の老木化の管理について 3 平内町環状128号線（農免道路）の管理について
3	6	田 中 茂 勝	1 平内中央病院のリハビリ機能強化を活かした地域活性化について 2 滞在型まちづくりと宿泊環境整備について
4	10	田 中 光 弘	1 風力発電事業について 2 クマ対策について 3 平内町立山村開発センターについて
5	7	太 田 満 則	1 公用車の使用方について
6	3	内 海 伸	1 同窓会やクラス会に助成制度を

一般質問の通告書

(〇 括 ・ 一問一答)

(受付No. /)

(発言順 /)

	表 題	具 体 的 内 容
質問の要旨	返礼品の見直しについて	<p>平内町の重要な自主財源の一つであるふるさと納税、とりわけ返礼品のあり方について、町の基本的な認識と今後の方向性を伺います。</p> <p>① ホタテ不漁による返礼品供給への影響について、町としてどのように認識しているのか、また寄附額への影響についてどのように分析しているのかお示してください。</p> <p>② 主力商品が供給制約を受ける中で、新たな返礼品開発の必要性について、どのような認識を持っているのか伺います。</p> <p>③ 原材料を町外から調達し、町内で加工することによる返礼品開発について、地場産品基準との関係も含め、どのように進めていこうとしているのかお示してください。</p> <p>④ 町内の水産加工事業者との連携を強化し、加工品開発を戦略的に進めていくべきと考えますが、町長の認識を伺います。</p> <p>⑤ 宮古市の牛タンのような成功事例を参考にしながら、本町独自のヒット商品を創出していくための具体的な方策について、検討する意思はあるのか、お聞かせください。</p>

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和8年5月12日

議席番号 4番

氏 名 田 中 大

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



14:50

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 2)

(発言順 2)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 移住・定住対策として、土地、戸建ての無償譲渡制度の設定について	<p>平内町では移住・定住対策として、空き家等バンク制度や各種住環境支援がある。空き家等バンク制度は関心度も高く一定の効果が期待できるものの、各種住環境支援については一時的な支援であって、移住・定住につながる効果は薄いように思う。</p> <p>全国的にはまだ僅かであるが土地または戸建ての無償譲渡制度を実施して効果を得ている自治体がある。</p> <p>移住・定住対策として大きな効果が期待される土地または戸建ての無償譲渡制度を設けてはどうか。これについての考えを伺う。</p>
	2 街路樹の老木化の管理について	<p>全国の公園や道路に於いて、樹木の老木化や病気を原因とする倒木や落枝の被害が急増している。当町に於いては青少年ホーム前の桜の木の老木化が進んでいるように思う。大きく成長し、道路側に傾いていて倒木の可能性があると考え。街路樹の管理はどのように行われているのか伺う。</p>
	3 平内町環状128号線（農免道路）の管理について	<p>平内町環状128号線松野木から馬門迄の通称農免道路は国、県が建設し、平内町と野辺地町が管理することとなっている。利便性が高いことから、多くの町民が利用している。利用している町民からは「草が伸びすぎて道路に倒れかかっている」とか「草刈ったけど道路標識のポールの周りに草が残っていて、風の影響を受け道路に倒れて来て通行の邪魔になっている」との声がある。</p> <p>環状128号線（通称、農免道路）の管理状況がどの様になっているのか伺う。</p>

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和8年5月26日

議席番号2番

氏 名 荒 内 護

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



14:00

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 3)

(発言順 3)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 平内中央病院のリハビリ機能強化を活かした地域活性化について	<p>現在、平内中央病院では、リハビリテーション分野に力を入れており、理学療法士など、合わせて21名体制で運営され、がん患者のリハビリなど幅広い分野に対応し、訪問リハビリや通所リハビリも展開されている。</p> <p>しかし、自治体病院を取り巻く環境は厳しく、人口減少や高齢化の進行、医療人材確保の課題などで、経営面でも大きな課題を抱えている。</p> <p>そのような中、平内中央病院の「リハビリ機能」は、単なる医療サービスではなく、町の将来を支える重要な地域資源になるものと考えている。</p> <p>そこで、以下について質問します。</p> <p>1. 「リハビリ特化型病院」としてのブランド化について</p> <p>高齢化社会では、脳卒中後の回復期リハビリや整形外科術後の機能回復のほか、在宅復帰支援などの需要は今後さらに高まると考えられることから、町として、「リハビリに強い病院」として県内外へ積極的に情報発信し、患者受け入れを強化する考えはあるか伺う。</p> <p>2. 人材育成と若者定住について</p> <p>現在、平内中央病院では学会発表や専門資格取得にも積極的に取り組んでいる。これは地方病院として非常に価値のある取り組みである。今後、①リハビリ専門職の研修拠点化 ②学生実習受け入れ ③地域医療教育 ④首都圏専門学校との連携などを進めれば、若い医療人材の流入や移住促進にもつながるのではと考える。</p> <p>人口減少時代においては、「仕事を理由に人が来る町」を作ることが重要だと思うので、平内中央病院は町の雇用政策、定住政策の中心になるものとする。</p> <p>町として、医療人材確保と地域定住を一体的に進めていく考えはあるのか伺う。</p>

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和8年5月27日

議席番号6番

氏 名 田 中 茂 勝

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 6番 氏名 田中茂勝

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨		<p>3. 病院経営改善に向けた具体的数値目標について</p> <p>自治体病院経営は大変厳しい状況であるが、改善のためにはどの分野を強みにするのか、どの患者層を重点対象にするのか、どの程度の利用者増を目指すのかという視点が必要であると考ええる。特に平内中央病院の場合、「リハビリと在宅復帰支援」は大きな強みであることから、①リハビリ利用者数 ②訪問リハビリ件数 ③在宅復帰率 ④町外患者割合 ⑤病床稼働率などについて、今後どのような数値目標を設定し、経営改善につなげていくのか、具体的な考えを伺う。</p> <p>4. リハビリ施設・機材の充実について</p> <p>現在、病院経営が厳しいなか、空き病室を活用するなど、医療スタッフや病院が様々な工夫を凝らして仕事をしているようだが、施設や機材の充実に力を注ぎ、効率の良い環境とすべきと考ええるが町長の見解を伺う。</p>
	2 滞在型まちづくりと宿泊環境整備について	<p>当町は、夏泊半島と陸奥湾の景観、浅虫温泉に近いこと、比較的穏やかな自然環境など、大きな地域資源を持っている。さらに医療・福祉分野における可能性がある。</p> <p>町内の宿泊施設は限られており、観光客のみならず、工事関係者、出張者、さらにはリハビリや療養目的で滞在する方々には、十分な受け皿があるとは言えない状況である。</p> <p>町のホームページでも宿泊施設として、夜越山ケビンハウスや海浜ロッジが紹介されているが、長期滞在や医療的滞在に対応できる施設はない。</p> <p>近年は人口減少や高齢化に伴い、全国的に空き家の利活用が課題となっている。当町では既に「平内町空き家等バンク制度」を整備し、移住・定住促進に取り組んでおり、さらに、空き家取得や改修に対する支援制度も整備されている。</p> <p>私は、これら既存制度をさらに発展させ、①観光客向けの滞在施設 ②工事関係者向け長期宿舎 ③リハビリや療養目的の滞在施設 ④家族付き添い用の簡易宿泊施設 ⑤移住体験住宅などとして活用することが、地域経済活性化と関係人口拡大につながると考える。</p>

平内町議会議長 船橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 6番 氏名 田中茂勝

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨		特に、平内中央病院のリハビリ機能強化と連携した「医療滞在型」の取り組みは、平内町独自の特色となる可能性があるのではと考えるが、町長の希望的、発展的見解を伺う。

平内町議会議長 船橋 健人 殿



15:47

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 4)

(発言順 4)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 風力発電事業について	1. (仮称) 平内陸上風力発電事業について 平内ウィンドファーム合同会社による夜越山南側後方松野木にかけて、1基あたり4,000キロワット、風車数12基、総発電出力48,000キロワットの風力発電事業が、工事開始2028(令和10)年4月、営業運転開始時期2029(令和11)年7月を目指すとしている。事業の進捗を伺う。 2. (仮称) 平内風力発電事業について 日本風力開発関連会社の平内風力開発株式会社による松野木、口広、狩場沢地区に1基あたり4,200キロワット、風車数9基、総出力37,800キロワットの風力発電事業が計画されている。風車の規格は最大級クラスの超大型風力発電設備である。工事開始は2031(令和13)年4月、運転開始は2033(令和15)年4月を目指すとしている。 ① 事業者が当町へ事業計画を示したのはいつか。 ② 「青森県再生可能エネルギー共生税条例」に基づき、1キロワット年間110円～1,990円が課税され、納税額は「青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生条例」で定められた区域区分、発電種別により異なる点について事業者から示されたか。 ③ 「広報ひらなひ 5月号」で事業者による5月17日、青少年ホームでの意見交換会開催の紹介が掲載された。会場内の状況を伺う。 ④ 開催後に事業者から町に対し、報告や協議が行われているのか伺う。 ⑤ 風力発電機の風車はハブ(柱)104m、ローター直径(羽)136m、高さ172mの県内、全国でも最大級クラスの超大型設備である。よって、事業者が今後予定している調査、環境影響評価、工事計画等について町はどのように把握していくのか伺う。また、今後の事業者との協議内容について、住民へ適切に情報公開していくのか伺う。

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和 8 年 5 月 28 日

議席番号 10 番

氏 名 田中 光弘

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 10番 氏名 田中 光弘

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	2 クマ対策について	<p>全国的に春の時期においてクマの出没目撃回数が例年より多いように見受けられる。当町では5月に入り24日現在で8日、9日、16日2件、17日、23日と6件に及ぶ。</p> <p>① 16日は正午頃に内童子橋付近、2時間後の午後2時10分頃に「平中地区」との目撃放送だったが、平中は第1平中、第2平中と広範囲な地域である。町では目撃情報ごとに防災無線による注意喚起や公式LINEで周知を行っているが、民家の付近に出没した際は詳細に場所を示すべきであると考えているが、町の見解を伺う。</p> <p>② 東奥日報で県内クマ目撃として、「市町村からの発表」として掲載している。当町では6件の目撃があるのに、「新聞になぜ載らないのか」と町民から疑問が寄せられる。情報発信方について伺う。</p> <p>③ クマの行動範囲把握に近年では、GPS発信器による位置把握、AI監視カメラ、出没情報アプリなど、先進技術を活用した対策が全国で進められている。危険を未然に防ぐためにはクマの行動範囲を把握し、迅速に情報共有する体制整備が必要である。取り組みを伺う。</p>
	3 平内町立山村開発センターについて	<p>町HPで町山村開発センター大集会室の施設利用終了のお知らせとして、「令和7年12月8日（月曜日）に発生した青森県東方沖を震源とする地震の影響により、施設に破損が確認された『大集会室』の施設利用と新規予約受付を終了。今後、利用再開の予定はないが大集会室以外は今までどおり利用できる」と掲載している。</p> <p>① 大集会室の破損を改修せずに利用終了とした経緯を伺う。また、新役場庁舎開庁に伴い施設を閉鎖、との声が伝わってくる。方針を伺う。</p> <p>② 開発センターは中央公民館としての位置づけでもある。小湊第一分館、第二分館として公民館活動の拠点としている小湊地区の町内会が存在しているが、中央公民館の対処方について伺う。</p>

平内町議会議長 船橋 健 人 殿



9:10

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 5)

(発言順 5)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1. 公用車の使用方について	住民から、町長交際費の対象とならない町民の通夜や火葬に町長車を使用して行くのは不適切ではないかとの指摘があった。町長の考えを伺う。

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和8年5月28日

平内町議会議長 船橋健人 殿

議席番号7番

氏 名 太田満則



14:21

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 6)

(発言順 6)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	同窓会やクラス会に助成制度を	<p>同窓会やクラス会は、進学や就職で町を離れている方々が、ふるさとに戻るきっかけにもなり、久しぶりに地元を訪れ、同級生と再会する中で、町の変化や地域の取り組みに触れる機会にもなります。「久しぶりに帰ってきてよかった」「また家族を連れて帰ってみたい」「将来的には地元との関わりを持ち続けたい」そうした思いが生まれることは、将来のUターンや地域との継続的なつながりにつながるものと考えます。</p> <p>同窓会やクラス会が開かれれば町内の飲食店などの利用も見込まれます。また、帰省に合わせて買い物をしたり、家族と一緒に町を訪れるなど地域の消費にもつながります。特にお盆や年末年始など、多くの方が帰省する時期に開催されれば町内の経済効果への一定の効果も期待できます。</p> <p>行政が新たな交流の場をつくろうとしても、参加につながることは容易ではありません。一方で同級生というつながりはもともと地域の中にある自然な関係です。そこを行政が少し後押しをすることで、比較的少ない負担で、人の流れや地域とのつながりを広げることができるのではないかと考えます。</p> <p>同窓会やクラス会は、単なる親睦の場ではなく、人と地域をあらためて結び直す大切な機会でもあります。人口の創出や地域経済の活性化にもつながる取り組みとして、町として助成制度を検討する価値は十分にあると考えますが、見解を伺います。</p>

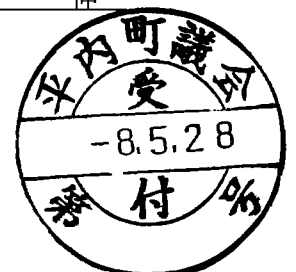
会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和8年5月28日

議席番号3番

氏 名 内 海 伸

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



10:06